

医療における安全・安心ネットワークが確立された関西

戦略的課題：目指すべき方向性

安全・安心の医療圏「関西」の実現

- ドクターヘリの配置・運航など、広域的な救急医療体制を充実させるとともに、各地域における医療資源の有機的な連携を図ることにより、二重・三重のセーフティネットを構築する。
- 三連動地震（東海・東南海・南海地震）などの大規模広域災害の発生に備え、東日本大震災での支援活動を踏まえた「広域災害医療体制」を構築することにより、関西全体における「減災」効果を高め、災害に強い医療提供体制を整備する。

施策推進上の目標：実現に向けた今年度の目標

■関西広域救急医療連携計画の策定

関西の府県域を越えた広域救急医療連携の更なる充実に向け、「ドクターヘリの最適配置・運航」を中心とする「関西広域救急医療連携計画」の策定を行う。

■東日本大震災における医療支援活動の検証

「広域災害医療体制」の構築を図るため、東日本大震災における医療支援活動を検証し、「広域救急医療連携計画」の策定に資する。

■広域的なドクターヘリの配置・運航

現在、連合管内で運航している3機のドクターヘリについて、本年4月に連合へ事業移管した、3府県（京都・兵庫・鳥取）ドクターヘリ事業に続き、「大阪府」及び「和歌山県」の事業についても、計画策定後の早期移管に向け、関係機関と調整する。

■近畿府県合同防災訓練を活用した「災害医療訓練」の実施

今年度、徳島県で実施される「近畿府県合同防災訓練」において、各府県の「DMAT」や「ドクターヘリ」等を活用した実践的な訓練により、災害時における広域医療連携のあり方を検証し、体制の更なる充実を図る。

施策推進の効果：期待できる具体的なメリット

■広域的なドクターヘリの配置・運航の実現により、

- ・各府県が独自配置によって生じる運航範囲・費用負担の重複等の解消
- ・複数機のドクターヘリが補完し合う相互応援体制の構築が図られる。

■各府県が持つ医療資源の有機的な連携を促進することにより、府県域を越えた広域救急医療連携体制の更なる充実が図られ、関西全体に「安全・安心の輪」が拡大される。

■災害時における広域災害医療体制の整備・充実を図ることにより、「減災」効果が高まり、発生する被害を最小限に食い止めることができる。

達成状況：実績評価や実績値

地球環境への対応、持続可能な社会を実現する関西

戦略的課題：目指すべき方向性

■ 関西のこれまでの取組の経験や蓄積を活かしながら、「温暖化対策」と「生態系の保全」の2つを柱として、環境先進地域“関西”を目指す。

施策推進上の目標：実現に向けた今年度の目標

■ 「関西広域環境保全計画」の策定

関西における環境分野の広域的課題に対処していくため、関西が目指すべき方向や取り組むべき施策のあり方、広域連合の役割等を定めた「関西広域環境保全計画」を策定する。

■ 温室効果ガス削減のための広域取組

温室効果ガスの排出削減に係る住民や事業者に対する啓発事業の広域的な取組、関西スタイルのエコポイント事業の実施に向けた検討や信頼性の高い温室効果ガス削減に資するクレジットの広域活用等に係る調査検討、電気自動車の普及促進に向けた広域的な取組を行うことにより、温室効果ガスの削減を図る。

■ 府県を越えた鳥獣保護管理の取組

府県をまたがり広域的に移動し被害を与えている野生鳥獣のうち、近年特に被害が深刻化しているカワウについて、生息動向調査を実施するとともに、有識者による専門委員会を設置し、計画骨子案の検討・とりまとめを行う。

施策推進の効果：期待できる具体的なメリット

■各府県が計画を共有することにより、事業の重複や不足部分が整理されるとともに広域連合としての一体的な取組が図られ、効果的な事業実施が期待できる。

達成状況：実績評価や実績値

広域職員研修の実施

戦略的課題：目指すべき方向性

- 高い業務執行能力と府県境を超えた広い視野を持つ職員の養成を図る。
- 職員間の交流を深め、人的ネットワークの形成につなげる。

施策推進上の目標：実現に向けた今年度の目標

■政策形成能力研修の実施

関西における共通課題等について研究を行うことを通じ、広域的な視点での政策形成の能力向上を図ることを目的とした研修を実施します。

※ 開催時期：平成23年 8月、10月

開催場所：和歌山県 高野山

受講定員：30名×2回（各府県10名ずつ）

研究テーマ：観光振興

■研修事業の充実化

今年度における研修の実施効果を踏まえ、より効果的、効率的な研修のあり方について参加府県と検討を行いながら、次年度以降の事業内容の充実化を図ります。

施策推進の効果：期待できる具体的なメリット

- 広域的な視点を持つ職員を養成するとともに、参加府県の職員間の相互理解を深めます。

達成状況：実績評価や実績値

各種試験の一元化により、事務の効率化を目指します

戦略的課題：目指すべき方向性

■資格試験・免許事務を集約し、一元的な実施・管理により効率化を図ります

○平成25年度からの各試験（調理師、製菓衛生師及び准看護師）の実施と免許交付等事務の実施を目指します。

○各種試験を統一的に実施する資格試験・免許の種類を段階的に拡充することにより、さらなる事務処理の効率化を図ります。

施策推進上の目標：実現に向けた今年度の目標

■試験免許統合システムの構築

各府県において管理しているデータを広域連合で一元管理するためのシステムを構築します。（平成23年度～平成24年度）

■試験実施要領・免許事務マニュアルの作成

各府県で実施している試験・免許等管理事務を広域連合で一元化し、効率的に運用するためのマニュアル作成を行います。

施策推進の効果：期待できる具体的なメリット

■資格試験・免許事務を広域連合で実施し、経費や職員の低減を行うことにより、年間約3,000万円の事業費の縮減を目指します。

■受験者の利便性の向上を図ります。

- ・手数料の引き下げを検討します。
- ・手数料の支払い方法の多様化（銀行振込、コンビニ振込等）を検討します。
- ・電子受付（インターネット受付）を検討します。

達成状況：実績評価や実績値